



ふるさと大野

令和8年1月29日

NO. 9

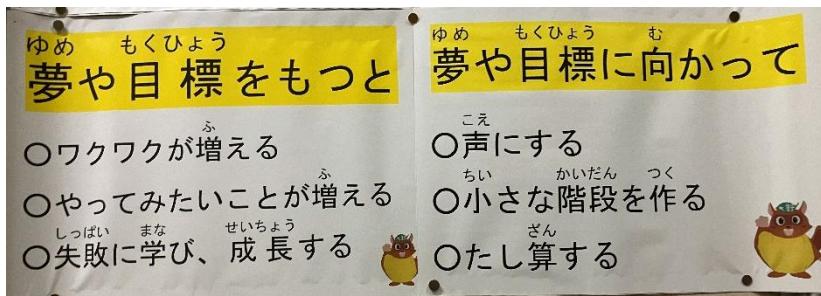
文責 宇田津

3学期が始まりました。今年もよろしくお願ひします。1年間で最も寒い時期を迎えるますが、この寒さが心を鍛えてくれているようにも思います。「1月は行ってしまう、2月は逃げる、3月は去る」と、月日の流れが際立って感じられるのも3学期です。本年度の締め括りに悔いを残さないよう、職員一同、心して向き合ってまいります。ご理解とご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

新年、新学期の始まりにあたって

1月8日(木)、2週間ぶりに子供達全員が学校に揃いました。代表児童の発表では、年末・年始にご家庭でゆっくりと、そして楽しく過ごせた様子がよく伝わってきました。お手伝いや生活リズムの確保など、将来の「自立」に向けてもがんばっていたようです。3学期も続けてほしいですね。

私からは、2学期終業式の「夢や目標をもつと」に続けて、「夢や目標に向かって」という話をしました。「夢や目標」とともに生きることで、その人の人生は豊かになります。小学生なりにがんばり方について学び、その喜びを感じてもらえばと思います。



地域の伝統に触れた「わらび餅」づくり



1月14日(水)にNPO法人みさと様のご協力を得て、3~6年生でわらび餅づくりを行いました。白木地区では650年前から山で採ったわらびを粉に、そして餅にして佐敷諏訪神社に奉納していたそうです。その奉納の後、例大祭は行われています。今回は、水俣市のモンブランフジヤの笹原和明さんのご指導のもと、本わらび粉からわらび餅づくりを体験しました。

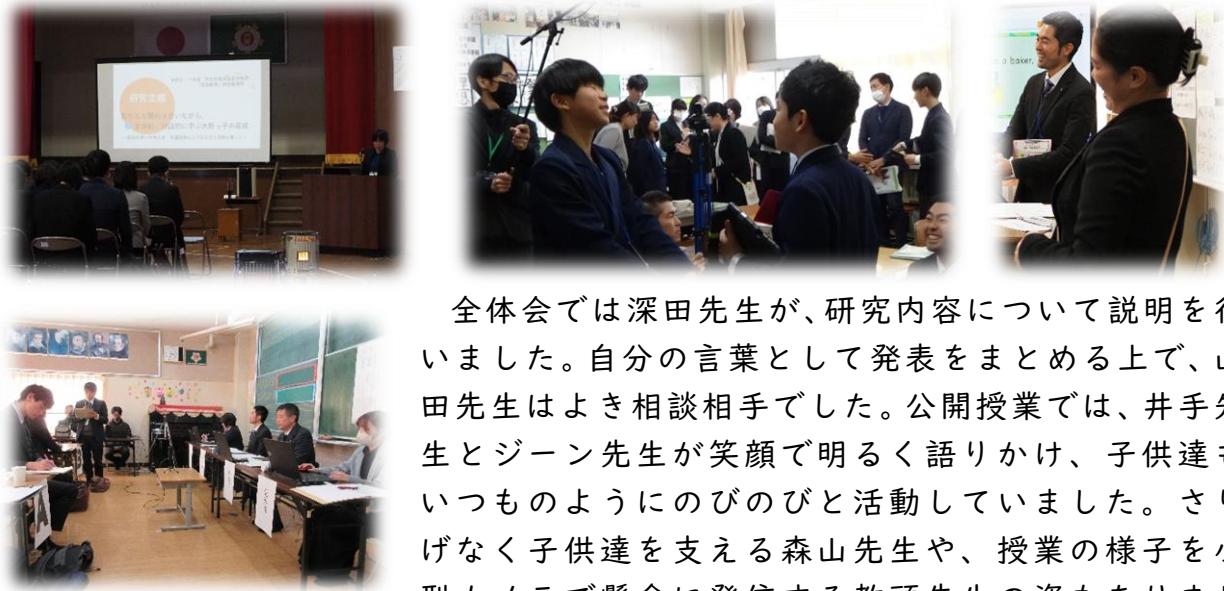


みさと様からは、一人一冊の本も寄贈していただきました。心より感謝いたします。



大野小学校、総がかりで 「英語教育」研究発表会を行いました!!

本校は、令和6・7年度の2年間にわたって、芦北町教育委員会の指定を受け、「英語教育」に取り組んできました。その成果を1月23日（金）に、オンラインと参集という形で、披露しました。子供達とALTのジーン先生を含めた職員12名という少人数による、大きな挑戦でした。



全体会では深田先生が、研究内容について説明を行いました。自分の言葉として発表をまとめる上で、山田先生はよき相談相手でした。公開授業では、井手先生とジーン先生が笑顔で明るく語りかけ、子供達もいつものようにのびのびと活動していました。さりげなく子供達を支える森山先生や、授業の様子を小型カメラで懸命に発信する教頭先生の姿もありました。その後の授業研究会・実践交流会では、前田先生が司会者として、多くの先生方が参加できるようがんばってくださいました。

内園先生は本校の取組をまとめたパンフレットを、本校らしい温かい雰囲気に仕上げられました。大木先生作成の掲示物や事務の平生先生が通訳として活躍された台湾交流の様子も紹介しています。元山先生は来校された方が気持ちよく過ごせるよう心を配ってくださいました。

山口前校長先生はじめ、昨年度から在籍された先生方の思いも添え、全員で一つのことをやり遂げられ、校長としてとてもうれしく思っています。本研究で培った力が、子供達の学びをより豊かなものにしてくれることを期待しています。

追伸

1月31日（土）は、ふれあい読書研究会委嘱事業の取組を計画、そして多数の参加申込をいただきありがとうございます。親子読書をはじめ、ブックレター等様々な取組へのご理解とご協力により、読書に関する活動も充実してきたように思います。楽しい旅行にしましょう！

